

「施餓鬼会・総会について」

先月号で「4月の施餓鬼は延期する可能性もある」とお伝えしましたが、3月22日の役員会で諮ったところ、幾つか注意しながら予定を短縮して開催することになりました。

変更点・注意点は次の通りです。

・10時から法要、引き続き総会を開催。

・昼食の提供は中止します。

・なるべくマスクの着用をお願いします。

・当日の天候にもよりますが、本堂扉を全開放しますので、暖かい服装でご参加下さい。

なお現在も感染者の数は増えていて予断を許しません。仮に非常事態宣言が出た場合は延期し、あらためてご案内しますのでご理解下さい。

「境内の整備と修復について」

今回、総会議案の一つとして、境内アスファルト舗装と石段の補修工事と入口の拡幅工事を提案させて頂きます。アスファルト舗装に関しては、これまで部分的な簡易補修を繰り返してきましたが、雨水による痛みが激しく、一部では陥没も見られる為、本格的な修理が必要です。併せて秋の授戒会に向けて、マイクログラス等が西側から進入出来るよう入口の幅を拡幅したいと思います。これは大型化した救急車などの進入路確保の意味もあります。



實相寺花園會報

令和二年 四月一日発行
発行所 臨濟宗妙心寺派 陽明山 實相寺 實相寺花園会
〒761-0450 高松市三谷町 1811番地1
TEL.087-889-3838
編集発行人 山本文匡
<http://www.jissouji.net>

第132号

「大地雪漫漫」

だいちゆきまんまん

「春風依旧寒」

しゅんぷういっくおんさによつてすさまじ

妙心寺派管長

ゆうげんくつ

幽玄窟

河野太通老大師

(昭和五年)

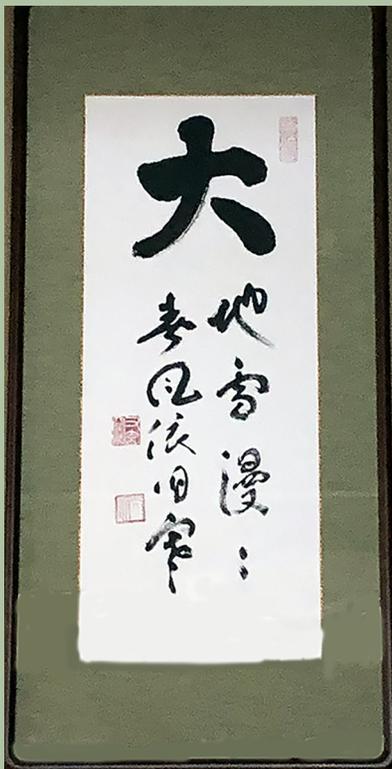
先日東京では季節外れの降雪が在ったようですが、そうした様子を表す語でしょうか。

洞山晁聴禅師の言葉として

『続景德伝燈録』にあります。

「禅を説き道を説くは易く、

佛と成り祖と成るは難し」と続き、何事も一面の銀世界の様に徹することを説いた語です。



「お寺の現状について」(2)

現代の宗教法人法では寺院も事業所です。給与の源泉徴収や社会保険への加入など法的義務もありますし、住職個人の生活と宗教法人の区別を明確にすることが社会的責任ですが、そうした要件を満たしつつ寺院を維持管理していくには一定の事業収入が必要です。

しかし近年、人口減少だけで無く、社会通念や家族構成の変化、社会的経済状況など様々な要因で、寺院の収入は減少しており、今後もそうした傾向は続くでしょう。このことは後継者問題にも影響します。只でさえ十八歳人口は減少して人手不足ですが、将来性のない仕事に就く若者はいません。「各寺で収入を増やす努力を」とい

う意見も耳にしますが、それは各寺院の立地条件や住職の個性に左右されるところも大きく、何より自助努力に任せるという方針そのものが、はたして仏教的なのか甚だ疑問です。もし僧侶の主な仕事寺院の経営なのであれば、仏教を学ぶよりも経営学を学ぶ方が良いでしょう。いという話になってしまいます。そこで提案したのが左頁記事の様に会員皆様に一日百円、月々三千円の寄付をお願いする案です。記事では「過疎地などの住職」とありますが、これは「全住職・副住職」の間違いです。そもそもお釈迦様の時代から、托鉢して自分の鉢に入った食べ物全部自分のものでありません。それは皆で分け合うものでした。(次号に続く)

『中外日報』3月6日号より

臨 黄

事業仕分け・100円お供え 提案

「妙心寺派」

第138次定期宗議会 第138次定期宗議会の通告質問で、議員側から様々な提案が出された。

織田宗覚議員は、今後の財政運営に関わって「地方自治体では事業仕分けを積極的に導入している。宗務本所も現在の事業の一つを取捨選

択してはどうか」と提案した。

これに対し、上沼雅龍総務部長は理解を示しつつ「今は特別寺班調査を行っているところ。事業

「財政再建の方向はスリム化だけではない」と、花園会員に毎日100円のお供えをお願いする案のシミュレーションを発表した。それによると37万人の会員から毎月約11億円の会費以外に葬儀や年忌のお供えが寄せられ、過疎地などの住職2200人が、妙心寺というブランドに月30万円、副住職50人に月15万円を給付しても年間43億円残る。その財源で各地に禅センターを開設し、坐禅や傾聴を行い、地元を離れた会員をフォローしつつ新会

山本議員は「荒唐無稽に聞こえるかもしれないが、妙心寺というブランド力を生かし、ワンチームで社会の安寧に寄与する」と思っている。

山本議員は「荒唐無稽に聞こえるかもしれないが、妙心寺というブランド力を生かし、ワンチームで社会の安寧に寄与する」と思っている。

また山本文匡議員が